



第四章  
資料





# アンケート用紙



令和5年3月10日

## 第33回東京都平和の日記念行事アンケート

本日の東京都平和の日記念行事について、アンケートにご協力ください。

■3月10日が東京都平和の日であることについて

- a. 知っていた      b. 知らなかった

■記念行事への参加回数について

- a. 初めて      b. 2～10回      c. 11～20回      d. 21回以上

■本日の記念行事について

1 「記念式典」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった      b. 良かった      c. 普通      d. 悪い

(ご意見: \_\_\_\_\_)

2 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった      b. 良かった      c. 普通      d. 悪い

(ご意見: \_\_\_\_\_)

3 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください。

a. 「記念式典」のみでよい(その理由: \_\_\_\_\_)

b. 「記念式典」と「記念演奏」を行う(その理由: \_\_\_\_\_)

c. その他( \_\_\_\_\_)

4 この行事を何でお知りになりましたか。

a. 広報東京都      b. 東京都のホームページ      c. SNS (Twitter、LINE等)

d. 知人から聞いて      e. その他( \_\_\_\_\_)

■その他ご意見ご感想をお聞かせください。

[ \_\_\_\_\_ ]

お歳: \_\_\_\_\_ 代

お住まい: \_\_\_\_\_ 区・市・町・村

ご協力ありがとうございました。

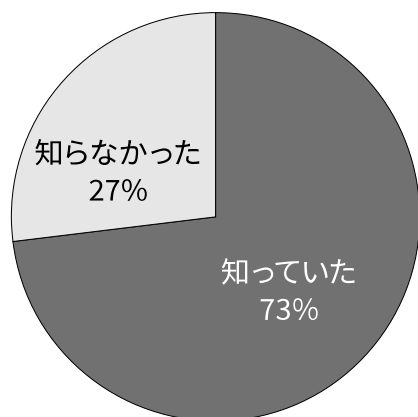
東京都

# アンケート集計結果

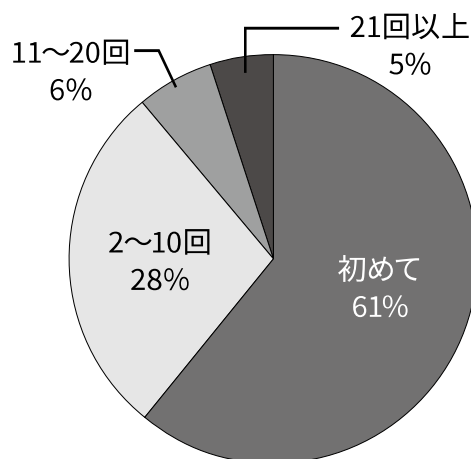


回答数：105

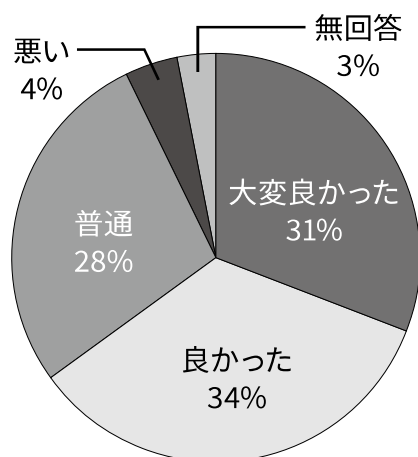
3月10日が東京都平和の日であることについて



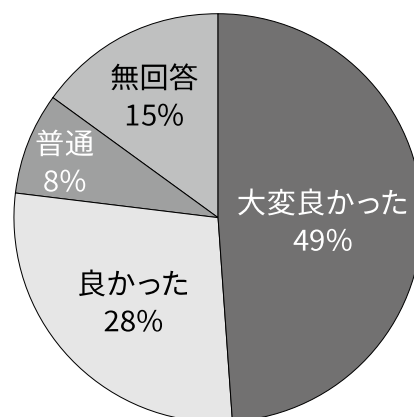
記念行事への参加回数について



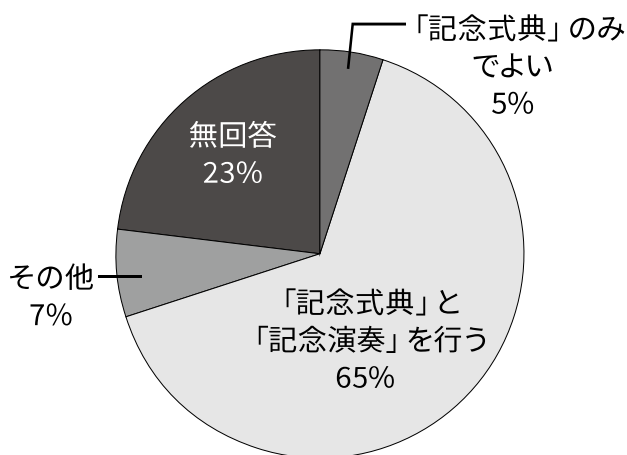
第一部「記念式典」について



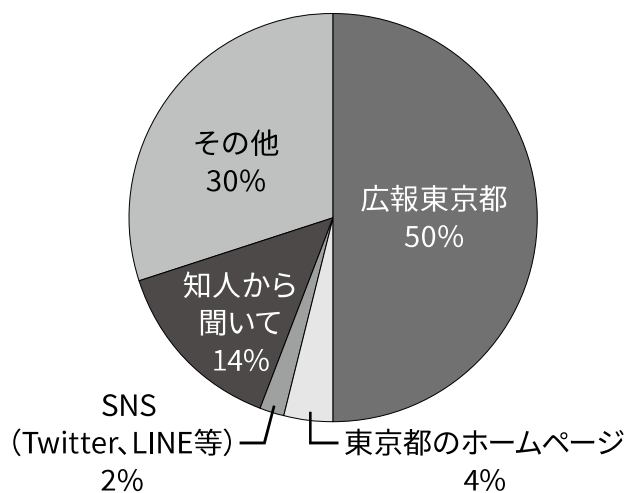
第二部「記念演奏」について



今後の「東京都平和の日記念行事」について



この行事を何で知りましたか





# アンケート集計結果（自由意見）

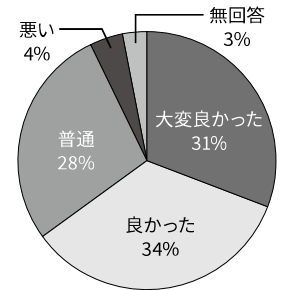


## 自由意見

### 1. 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください

- 「世界204ヶ国の内、10の国が独裁者が治めている国」という、カデロ閣下のお言葉が心に残りました。
- 空襲とその犠牲を風化させないためにこの行事があったと思う。
- 行事に参加させていただきありがとうございました。
- 小峰ヒデ子さんのスピーチに感動しました。絶対に戦争を起こしてはいけません。
- ただ、当時の体験者がより高齢になってきているため、その貴重な体験談を生でより多く聞けると良かったかと思ひます。不可の場合、ビデオメッセージ等で。
- 静粛な会でした。
- 体験談を聞き同時代を生き方のお話良かったです。
- 初めての参加で感動した。
- 戦争を直接的に語れる人が少なくなって来ている中で、記憶の継承は絶対に必要。
- 体験者の話を直に聞いて良かった。
- 式典進行がスムーズで出席者(列席)のお話も聞きやすかった。
- 次女(自分の姉)のむこ様が戦争で亡くなっている。戦争に行くことをわかりつつ嫁いだステキな義理の兄でした。私、6才でした。過去を想い出して…。
- 被災者の方のお話をもう少し伺いたい。
- 空襲体験者の話が聞けるのは、とても大切な機会です。
- 話をされる方が少ないのが良い。国家も流れて式典らしいと思ひました。

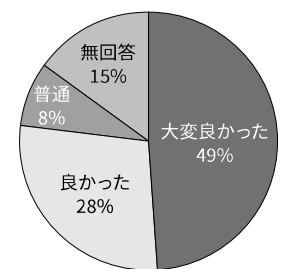
- コロナのために人員が少なかった。さみしかった。
- 平和の大切さを改めて感じた。
- 時間の長さがちょうど良いと感じた。
- 話者の声量によってスピーカーの細かな調節が必要だと思ひた。(私は聴覚障害があります。)
- 短く、あいさつがよかった。
- いつも拍手はしないのですか?
- 戦争を二度としてはいけないと、参列して思ひました。式典を続けてほしい。
- 駐日外交団長様のお話にとて心うたれました。被災者のお話はあまり聞き取れませんでしたので、資料があると助かりました。
- 被災者の声がよく聞けなかったのが残念。
- 味気ない。
- 外国の大使の声も、大国の人の声も願ひしたい。
- 代読ではなく、ご本人が望ましい。
- 被災体験者の談話主体にし、「式典」にしなくてもいいと思ひます。
- いつもと同じ。
- 工夫が感じられず、特に心に残るものではなかった。



### 2. 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください

- 哀しみをいやし、内省を促す音楽の力を改めて感じました。
- 解説までして下さり、よい音楽に包まれてとても良かった。平和を感じられた。今日の式典にふさわしいと思ひました。心がいやされました。選曲も良いです。
- とても気持ちよく感心しました。
- 素晴らしい演奏でした。
- 被災者(犠牲者)への鎮魂や、平和への祈りを捧げる意味で良かったと思ひます。
- ハーモニーが素晴らしかった。
- 今度来れたら来たいです。
- 心が豊かになりました。MCも良かったです。
- 音楽も心に届く。
- 選曲も大変良いです。ボロディン美しかったです。
- とても良かったので、続けてもらいたい。
- 来年度以降は声唱も追加されると、なお良いかと。
- 戦前戦争中は一般の人はあまり聞けないかと思ひるので。
- 演奏が始まると会場の皆さんは一斉に舞台を見て音楽

- を楽しんでいました。私もその一人です。音楽を楽しめる、それこそ平和です。
- 前回は音楽演奏で精神がやすらぎ毎回演奏を望みます。
- 海老名香葉子さんの曲が聞きたかった。
- 歌えないのはさびしいですね。音楽で気持ちがやさしくなりました。ありがとう。
- 生の音楽はいい。
- 演奏は、平和を祈るシンボル。戦争を知らない世代ですが、演奏を聴き深く心をうたれました。
- 交響楽団(指揮者付)の演奏が良い。前回東京オリンピック大会の入場行進曲(古関裕而作曲)が、昭和を代表する楽曲だと思ひます。
- もっと話を聞きたかった。
- 短時間で曲が多すぎ。



# アンケート集計結果（自由意見）



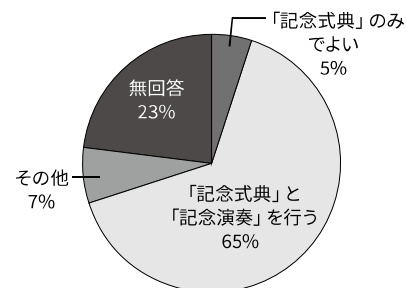
## 3. 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください

### 「記念式典」のみでよい」の意見

- 高齢者が多いようなので、長い時間は苦痛ではないかと思う。

### 「記念式典」と「記念演奏」を行う」の意見

- 音楽が必要だから。生の弦楽四重奏曲を久しぶりに楽しめました。
- 音楽や芸術は人を豊かにするから。
- 演奏がとても楽しめた。
- 記念演奏が楽しみだから。
- 参加者促進のため。
- 今回良かったから。
- 式典のみでは出て来る人が少ないと思います。
- 視覚障害があると音楽は楽しみである。
- 生演奏がとても良かった。
- 犠牲者と遺族の方々もなぐさめられるのでは？何よりの追悼になるのでは？
- かたいお話ばかりより少々リラックスして良かった。
- 必要なため。
- 心豊かになれるから。
- どちらもとても素晴らしい内容なので。
- 供養になると思います。
- 祈りとして音楽を演奏して頂きたいです。
- PRになる。
- 都響を知る機会となる。固い式典の後の心和むお楽しみとしてよい。
- 平和であってこそ音楽を楽しめると実感できたので。
- 音を奏でることで戦災で亡くなった魂をいやせると思うから。
- 心が和む美しい音色、うっとりしました。
- とても心がなごみました。
- 慰霊として必要。慰霊堂でも演奏してほしい。
- 戦中このような演奏を聴くことも出来なかった人々への鎮魂の意味も込めて演奏も必要。
- 意識醸成のための取組として有用と思います。
- 記念式典のみではさみしい。
- 演奏を楽しみにしています。
- 時間的に丁度よい。
- 音楽の言葉は大切。都響の活躍の場を広げるのは良い。都響定期会員です。
- 都庁ならではの形です。
- 芸術に生で触れることが、平和を感じるので。
- 記念式典の語りと演奏の曲が重なり、心から平和を願う気持ちが高まる。
- のんびりとさせて頂きました。



- お楽しみ事項も必要。
- 天国にいる方にも聞かせてあげたい。平和だと知ってほしいから。
- 都民でも都響の演奏を聴く機会は少ない。
- 音楽によって平和への祈りが増す。
- 清かに淋しい思い出のみの自宅は又さらに淋しいです。
- 少しでも供養になる。
- 式はもちろん演奏も聴きたい。
- 鎮魂の意味からも、あっさりしすぎずに良かった。但し余計な説明は不用。そぐわない。鎮魂の言葉もなく、おそらくそのような気持ちも無いように感じた。自己PRすぎる。

### 「その他」の意見

- 演奏があるのはよいが、プログラム内容と東京空襲もしくはWW IIの関連性が不明すぎる。クラシックは別の機会でよい。正直違和感。
- オンラインで参加できる学校に式典を見てもらいたい。子供たちにもっと知らせる教育をしてほしい。
- 被災者の話をもっと増やした方がよい。高齢化により聞ける機会が今後、より減るため。
- 夫が亡くなりやっと落ち着きましたので出たいと思っております。
- 忘れないためにたくさんの人が亡くなり今の平和がある事を思う日。
- 空襲被災者家族の話を中心にしてほしい。
- 記念式典で当時の状況を更に詳しく発信してもらいたい。
- 小中学校において戦災についての学習を強化すべきではないか。
- 購買コーナーも必要に思いました。



## アンケート集計結果（自由意見）



### 4. その他ご意見ご感想をお聞かせください

- 80年近い歳月が過ぎ、また、3.11とも1日違いの3.10は関心が薄れていくように思われる。3.10のみでなく、3月を平和月間とし、民間製作の映像作品の上映、絵本書籍等の展示、日本以外の平和を願う国、戦下の国々の思いを伝えるメッセージ等、紹介してはどうか。
- 都の方が多くいらっしゃるのに、色々うまく伝わっていない事が多く、ムダな動きが気になりました。人によってはちゃんと対応してくれて、しっかりされた方もいました。お世話になりました。
- 被災者の方々は年々少なくなると思うので、生の話は無理としても、昔の映像や話などで良いので、記念行事の日に流したりして、行事はずっと続けていただきたい。
- 初めて登庁しました。ありがとうございます。若い人が来れる日時にした方が良いのでは？
- バスで都庁まで来ました。その間、今はコロナでしかたないですが、コロナが治ったときは、水分でも用意していただければ幸いです。
- 記念演奏は、能楽など日本の伝統のものをやってはどうでしょう。ロシアとウクライナの状況が今後どうなるのか、来年もまたこの平和の日記念行事が開かれますように。世界が平和である中で。
- 空襲警報の音におびえた日があった事などすっかり忘れて日々暮らしております。平和を改めて感謝いたします。平和ボケにならないように。海外の胸いためる事も多いですが。
- 戦争を二度とやらない。平和を守るために、人の心をおだやかにすごせるよう。
- 今回平和というもあり仕方ないことではあるが、東京で平和を考える一番大切な日であるので、子供や若者達も関われるような工夫が必要ではないであろうか。出席者の大半がご高齢ということ＝未来には形骸化する。一番良かったのは中島飛行機武蔵製作所でお姉さまが被災した体験が(代読)聞けたことで、都知事含め、あまり平和への熱量を感じなかった。
- 戦争を知っている体験している方の話は現実をイメージできそうで、とても貴重な話であると思います。記念式典後のクラシック曲はとてもジーンとして気持ちが良くなる。
- 都庁の真中で東京都が忘れてはならない日の鎮魂の式典が三十三回目を数えますこと、尊いことと存じます。細やかながら、平和のために出来ることをしていきたいと思いました。今日はありがとう存じました。
- 1945.6.30南洋で戦死した父の遺骨探すため厚生省に依頼中。78年間は余寒であったが・・・。
- 視覚障害があるので文字を濃く大きくしてもらえるか、反転で黒に白の文字だと見やすい。今日はありがとうございました。
- 車椅子をお借りしました。年々年を取っていきますので、用意しておいていただければ幸いです。都が平和の日としてずっと続けていっているのには感謝いたします。
- 86才になって親2人と姉、妹と戦争で死に別れ、現在元氣な孫が赤ちゃんを新年早々生まれました。
- 私は昭和24年生まれです。初めて参加しました。私の生まれる前のことですので、また身内で犠牲になった者はいませんが、99才の夫の母から亀戸に住んでおり、空襲の中を家族全員で逃げ延びた話を伺っていました。関心がありましたので広報で今回の式典参加を知り、応募しました。10万人もの方が命を落とし、さぞ無念であったろうと思いますし、東京が焼土となり、戦争とは何とひどいこと、やってはいけないことと思います。ウクライナ戦争が一日も早く終わることを祈ります。
- 東京都から世界平和を願う。命より重いものは無いのだ。自己も他者も。
- 東京空襲犠牲者への補償をすすめてほしい。記録した犠牲者が語るビデオを全て公開してほしい。
- 都庁に初めて来たので、館内が分かりにくかった。飲食できる場所が食堂しかなく不便だった。遅れて入る人が入口から一番遠い席に座らないとまらないのも、おかしかった。通訳のタイミングも良くなかった。
- 身内の人が何人も亡くなっているので、3月10日は大切な日になっています。だんだん年配の方達の慰霊堂の参拝が少なくなって来ています。子孫に語り継いでいって戦争のない平和な日々が続くよう、活動は続けていってほしいです。沢山の方達のご尽力でこのような式典や慰霊堂での式典ができますこと、誠に感謝に堪えません。ありがとうございます。
- 自宅の庭に防空壕があり、当時の事は今でも鮮明に覚えています。空は葛飾区の夜空は真っ赤な赤色に染まってB29より焼夷弾が地上に落下されていましたので、とても恐怖なことを今でもはっきりと覚えています。
- 大変良かった。
- 3月9、10日の大空襲は我家の祖父、父母、前妻、叔父、伯父、叔母など直系で7名亡くなっており、近所に住んでいた親戚10名も亡くなっており、特別な日です。実家の母が毎年慰霊堂にお参りした後手配して下さるバスがあることで、平和の日の式典に出席できます。3月に94才になる母は、今年でもう参加は無理かもしれないと淋しく言っております。今日は付き添いで参加できてありがとうございました。今も戦争が続いている。こんなひどい思いは二度としてはいけないと思っているのに、なぜ戦争を起こすのだろうか。命の尊さはかえがたく思い、現状は辛いものがあります。平和な日が一日も早く訪れることを祈念しています。精一杯生きてきた方達の姿を思い描いて、心よりご冥福を祈ります。
- 来賓者は少数で充分。感動的、有意義な話を拝聴できたら充分ではないかと。
- 戦争を経験した方々は、本当に苦勞した世代だと思い

## アンケート集計結果（自由意見）



ます。先人の日本人の方々のおかげで今の平和があることを私達は忘れてはいけません。もっとこのような時代があった事、平和を享受できている事が当たり前ではない事を、もっともっと教育の場できちんと教えるべきです。

- 「平和の日」の都民への周知がまだ行き渡っていない、不十分であると思います。「歴史は繰り返す」ということをさせないためにも、戦争を二度と起こさせないよう、その意識を高めていく必要性を改めて感じました。
- 最後の方のお話がほとんど聞き取れず残念です。
- 被災者代表のメッセージが届かない。音声をしっかり聞こえるように!意味がない、もったいない。これが聞きたくて来ているのに残念。素人なのだから、音声をなんとかした方が良い。マイクから遠すぎ。
- 会場に入るまで、係りの人数が多すぎると感じた。
- 震災記念堂からのバスで来たが、入庁手続き等について(食堂の利用方法なども)案内が不十分で分かりにくかった。スタッフがお尋ね下さったが、利用する側の観点に欠けていた。記念碑のパンフは有り難かった。記念碑の見学を式典参加者を優先させてほしかった。バスに間に合わず見られなかった。10:30会場公園着していた。
- コロナ禍後、次回から、参加された方々との意見交換時間や場所を設けてほしいと思います。
- これからますます平和の意味を問われることと思います。その時この記念行事が意味を持ち、どうか意味のあるものにして下さい。これからの人達のために。
- バイオリン(弦楽器)の音がこんなにも人をいやすとは思ってもよらず、素晴らしかったです。音の力でいやされた魂がたくさんいらっしゃると思います。高齢の両親と来ましたが、ぜひ記念演奏続けて下さい。
- 今日は世界ではロシア、ウクライナの戦争、シリア色々な問題があるが、日本で戦争が起きない様とニュースを見てつくづく思う。
- 空襲被災2世として、実父の前家族が4名一度に城北大空襲で死亡したことを去年4月に実父の日記で詳細に知ることができ、今年2月に追悼記念碑(横網町)に名簿を追加納入してもらい、後は父と前家族の追悼を私の家の菩提寺(文京区白山)で実施する予定です。実父は大戦中、消防署員(中隊長)として連日空襲による火災鎮圧に毎日夜尽力しており、また、戦後も消防監まで昇進しましたが、満50才で病死し、長子の私(18才)はじめ子供3人は都共済の年金で成人できました。被災2世でも苦労している人は多いです。
- 芸人や歌手、アスリートの人達の協力も必要。若い人に感心してもらいたい。この先の平和のため。
- もっと体験者の話が聞きたいと思いますが、すでに無理なんでしょう。
- 戦争を語る人も徐々に少なくなってきました。なので当時を振り返る事が出来るような映像作品の様なものを上映するのも良いのではないのでしょうか。
- 記念行事のPR方法はこれでよいのか。

- この行事をただ続けるだけでなく、軍備とは無縁の真の平和を求めます。希望している未来とは逆の未来には絶対ならないように。
- 初めて参加しました。都民として、平和の式典に参加でき良かったです。
- 私も戦争を知らない一人。平和の日記念行事を通して、先人の犠牲と努力によって今の平和を享受していることに感謝いたします。忘れないため、思い起こし次の世代へ平和を引き継いでいくために、大切な事だと思います。
- 墓じまい前に曾祖父が亡くなった東京大空襲の記念式典に出られてよかった。上野や各地で行われているものと違い、戦争や平和というものと全く切り離されてしまった印象です。知事を始め皆様のご挨拶は大変よかった。簡素で短く、というのは終わってみたら良い印象です。花も花器も簡素というテーマではうまくまとめられていて、極めて心に残りました。
- 今回初めて参加させていただき、日本の平和が続くことを願います。
- 10年以上参加していますが、近年式典の内容が少々形骸化されてきているように感じます。東京大空襲を冷静に客観的にマスコミや若い人々に発信していくことを期待します。無差別爆撃は一般市民をも攻撃対象として、大々的な被害が出ました。今後それをきちんと伝えていく方法をもっと考えていただきたいと思います。
- 若い頃より東京大空襲のことについて早乙女勝元さんが活動していらっしゃることは知っていましたが、勉強させていました。私の両親の家は新宿区で、4月か5月に家を焼かれたそうです。私は終戦の翌年にその焼け野原に建てたタン小屋で生まれたと母に聞きました。何とか武器でなく話し合いで戦争を避けられないか、世界の平和が築かれますように祈るばかりです。
- 戦争のない時代が末長く続きますよう。この式典に参列させていただきありがとうございました。
- 空襲被災者の話はほとんど聞き取れない。駐日外交団長の話は良かった。
- 女性のお話、全然聞き取れなかった。残念です。
- 会場に流れる歌声が耳障り。無い方が良い。
- やはり記念式典のみより演奏もあってこそ、平和の式典かと存じます。とてもステキ。ありがとうございました。
- 資料を同封しているが、各資料内容についての案内アナウンスをすべきでは?
- 業平橋にて空襲にあった母を連れて戦没者霊苑に行ったことはありましたが、このような式典があることを初めて知りました。本年94才になる母は外出もままならない状況ですが、一度、来させてあげたかったと思います。
- 父方の伯父が3/10に空襲で亡くなりました。今回このような式典があるのを知り参加させていただきました。経験者がいなくなったら風化すると言われていています。その時が近づきつつある中、このような式典をすることで、二度と起こしてはいけない戦争を少しでも語り継ぐべきだと思います。

## 東京都平和の日条例

平成二年七月二十日  
東京都条例第九十号

東京は、今や、世界の経済社会の発展を支える大都市としての地位を占めるに至った。これは、東京の地に住み、働いてきた人々の努力の賜物である。

しかし、東京の歴史には、幾多の惨禍が刻まれている。特に、多数の都民が犠牲となった第二次世界大戦の悲惨を我々は忘れることができない。

平和は、都民すべての願いである。

東京都は、平和国家日本の首都として、世界の都市と連携し、文化交流等の推進に努め、人々の相互理解に立脚した国際秩序の形成と恒久平和の実現に貢献する責務を深く認識し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、ここに、東京都平和の日を定める。

### (平和の日)

第一条 東京都平和の日は、三月十日とする。

### (記念行事)

第二条 東京都は、東京都平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

### (委任)

第三条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

### 附則

この条例は、公布の日から施行する。

## Tokyo Metropolitan Peace Day Ordinance

Tokyo has now become one of the major cities to support the development of the world economy and society. This result can be attributed to its residents, who have lived and worked diligently in Tokyo. However, Tokyo recorded many disasters in its history. Of these, we will never be able to forget tragedies experienced during World War II when many Tokyo residents fell victim.

Peace is the very wish of all of Tokyo's residents.

The Metropolis of Tokyo, as the capital of peaceful nation of Japan, has decided to promote cultural exchanges in cooperation with the cities of world. Tokyo recognizes responsibility for devoting itself to forming an international order based on mutual understanding and achieving eternal peace. Tokyo takes an oath never to repeat the horrors of war. Therefore, the Metropolis of Tokyo does hereby enact the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(The Peace Day)

Article 1 The Tokyo Metropolitan Peace Day shall be on March 10th.

(Commemorative events)

Article 2 In order to confirm the significance of peace and to promote peace-consciousness, the Metropolis of Tokyo will carry out commemorative events on the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(Delegation)

Article 3 Necessary matters related to the enforcement of this ordinance shall be fixed by regulation.

Supplementary provision

This ordinance shall come into force from the day of its promulgation.

Promulgated July 20, 1990

Tokyo Metropolitan Ordinance No.90



## 東京都民平和アピール

一九四五年三月十日、五十年前の今日、東京は大空襲によって、いたるところ焼け野原と化し、一夜にして十万人のかけがえのない尊い命が失われました。

同じく五十年前、広島と長崎の原子爆弾は、人類がいまだかつて知らなかった悲劇を地上に現出させました。

いかなる哀悼の言葉も意味を失ってしまうほど非情かつ残酷なもの、それが戦争のもたらすあらゆる惨禍であり災害であります。

そして半世紀がたちました。戦争を知らない人々が、都民の多数を占める時代がきました。東京の姿は一変しました。廃墟だったまちは、活動力にみちた大都市に変貌しました。それは、日本が平和のもとにあったからこそ実現できたものでした。

世界の相互依存関係がかつてないほど緊密になり、互いの協力がますます必要とされる現在、私たちは世界全体の平和なくして、幸せて安全な暮らしを営むことはできません。

いま世界は、激動の中にあつて、大きな歴史の転換の時代を迎えています。民族や宗教の対立などに起因する悲惨な地域紛争、飢餓と貧困、難民と被災者、地球環境の破壊と悪化をはじめ、人々の糧やかで満ち足りた生活をはばむ要因が、次から次に生じています。不信と対立を克服し、信頼と協調による新たな国際秩序を模索することは、地球全体にとって緊急な課題であり続いています。国、民族、文化の違いをこえた取り組みが、今ほど求められている時はありません。

平和は、何ものにもまさってすべての基礎をなす条件です。日本国憲法が基本理念とする恒久の平和は、私たちすべての願いであり、人類共通の目標です。

私たちは、軍縮と核兵器の廃絶を機会あるごとに強く訴え、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓います。日々の生活において、平和を脅かす問題に、毅然として立ち向かい、忍耐よく取り組むことを決意します。

一 私たちは、次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さと、それを防止することの大切さを、東京大空襲の体験などとともに語り伝えます。

一 私たちは、共に地上に生きるすべての人の人権を尊重し、差別を排し、思いやりと愛情をもって、誇るに足る地域社会をつくります。

一 私たちは、日々のくらしを注意深く見つめ、豊かな水と緑の地球環境を守ります。

一 私たちは、地球社会の一員として、世界の人々と交流し、相互の信頼を深め、協力連帯して、人類の福祉の向上に努めます。

一 私たちは、過去の歴史をかえりみて、ともに手を携えて平和な世界をつくり、相ついでやって来る新しい世代に引き継いでゆきます。

第五回東京都平和の日記念式典にあたり、私たちは、参加者の総意としてこのアピールを採択し、誓いも新たに、平和を心から願う気持ちと決意を、全世界の人々に訴えます。

一九九五年三月十日 東京都

## An Appeal for Peace by the Citizens of Tokyo

Fifty years ago today, on March 10<sup>th</sup> 1945 Tokyo was reduced to ashes and a hundred thousand precious lives were lost overnight due to a large-scale air raid.

The same year, the dropping of atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki revealed a tragedy never previously known to human beings.

The nature of various horrors and disasters brought forth by war is so cruel that no words of condolence are enough.

Half a century has passed since then. Most of today's citizens of Tokyo don't know the war. The city of Tokyo underwent a tremendous change. Once in ruins, Tokyo is now a metropolis full of energy and spirits. This became possible only because Japan has been at peace for the past fifty years.

Today, when global interdependence is stronger than ever and cooperation increasingly necessary, we cannot seek a safe and happy life without world peace.

In the midst of turbulence, the world today is approaching an era of great change in history. Conflicts caused by antagonisms between different ethnic groups and religions, hunger and poverty, refugees and victims, deterioration and destruction of the environment—these are only a few of many factors in today's world which endanger people's calm and fulfilling lives. To overcome distrust and antagonism and to seek a new international order is an urgent agenda of the entire world. Never before was it necessary to deal with this agenda regardless of differences in nationality, ethnic background, and culture.

Peace is a basic requirement, more important than anything else. Lasting peace, the fundamental principle of the Constitution of Japan, is the wish of everyone of us and is also a common goal for all human beings.

We pledge to take every opportunity to advocate disarmament and the abolishment of nuclear weapons, and to never repeat the horrors of war. We are resolved to deal with problems which endanger peace in everyday life and to face them resolutely and patiently.

- We will tell our children, who are responsible for the next generation of the horrors of war and the importance of preventing it, along with the memories of the large-scale air raid of Tokyo.

- We will respect the human rights of all people living on the earth, fight against discrimination, and create, with much love and compassion, a community which we can be proud of.

- We will review our daily lives in order to preserve the world environment with rich water resources and greenery.

- We, as members of the global community, will develop amicable relationships with other people of the world, strengthen the mutual trust, and, with cooperation and solidarity, make efforts to enhance the well beings of mankind.

- We will reflect upon our past history and create a peaceful world for the next generation to cherish.

On the occasion of the 5<sup>th</sup> Peace Day Commemoration of Tokyo, we adopt this appeal by the consensus of all present, thereby conveying to the world the renewal of our sincere resolution to achieve peace.

March 10<sup>th</sup>, 1995